

植物遺伝資源探索導入調査報告書

通巻第41巻

令和6(2024)年度



国立研究開発法人
農業・食品産業技術総合研究機構
基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター

目次

I. 海外探索収集及び共同調査報告	
1. ラオスにおける植物遺伝資源の探索・収集，2022年12月 奥泉 久人・シビンケック ポマラス・ケムカム ホンパクディ・ クーカム ビライヘン・稲垣 スワンペン	1
2. 2024年ベトナム中北部におけるナス科作物を中心とした遺伝資源の共同探索 杉田 亘・TRAN Thi Thu Hoai・HA Minh Loan・松島 憲一	22
3. カンボジアのトンレサップ湖南東部地域における 野菜遺伝資源の共同探索と収集，2024年 小倉 真里奈・Dolla ROS・Phuryma DIEP・Chhourn ORN・ Sophany SAKHAN・Bunna LOR・下村 晃一郎	43
4. カンボジア南東部における野菜遺伝資源探索，2024年 田中 克典・Eang SUYKIM・Phuryma DIEP・ Chhourn ORN・Sophany SAKHAN・Bunna LOR	68
5. ウズベキスタンにおける野菜遺伝資源の共同探索，2024年 入江 憲治・藤戸 聡史・馬場（笠井） 晶子・ Ravza MAVLYANOVA・Rustam NIZOMOV	82
II. 海外植物遺伝資源探索収集及び共同調査チームの派遣実績	93
III. 国内植物遺伝資源探索収集チームの派遣実績	114

Contents

I. Exploration and Field Research in Foreign Countries		
1. Collaborative Field Exploration and Collection of Plant Genetic Resources		
in Laos, December 2022	• • • • •	1
Hisato OKUIZUMI, Siviengkhek HPOMMALATH, Khemkham HONGPHAKDY, Koukham VILAYHEUANG, Souvanpheng INAGAKI		
2. Collaborative Exploration of Genetic Resources Mainly Solanaceous Crops		
in North-Central Vietnam, 2024	• • • • •	22
Toru SUGITA, TRAN Thi Thu Hoai, HA Minh Loan, Kenichi MATSUSHIMA		
3. Collaborative Exploration and Collection of Vegetable Genetic Resources		
in Southeastern Region of the Tonlé Sap Lake, Cambodia, 2024	• • • • •	43
Marina OGURA, Dolla ROS, Phuryma DIEP, Chhourn ORN, Sophany SAKHAN, Bunna LOR, Koichiro SHIMOMURA		
4. Exploration and Collection of Vegetable Genetic Resources		
in Southeastern Cambodia	• • • • •	68
Katsunori TANAKA, Eang SUYKIM, Phuryma DIEP, Chhourn ORN, Sophany SAKHAN, Bunna LOR		
5. Expedition and Collection for Vegetable Genetic Resources in Uzbekistan, 2024	• • • • •	82
Kenji IRIE, Satoshi FUJITO, Akiko BABA-KASAI, Ravza MAVLYANOVA, Rustam NIZOMOV		
II. PGR Missions dispatched abroad since 1975	• • • • •	93
III. Explorations organized in Japan since 1985	• • • • •	114

植物遺伝資源探索導入調査報告書 投稿要領

目的：

本報告書には、農業生物資源ジーンバンク事業等による植物遺伝資源の探索・収集に関する現地調査報告およびその関連する情報を掲載する。

投稿者：

投稿原稿の筆頭著者または責任著者は原則として農研機構職員とする。ただし、探索隊が大学や地方公共団体等の場合はその限りではない。

植物遺伝資源探索導入報告書編集委員会：

本報告書を刊行するにあたり、編集委員会を設置する。編集委員は農研機構 遺伝資源研究センターのセンター長、副センター長および各ユニット長で構成し、編集委員長は遺伝資源研究センター長とする。また、遺伝資源研究センター内に編集業務を担当する編集事務局を置く。

投稿原稿の体裁・提出：

- －投稿原稿は日本語または英語とし、(別紙1)「植物遺伝資源探索導入調査報告書 投稿原稿作成要領」に従って原稿を作成する。英語による原稿は、著者の負担で英文校閲を行うこととする。
- －投稿原稿はメールにて編集委員会事務局に提出する。
- －掲載の順序、論文の体裁などは編集委員会で決定する。

投稿原稿の審査：

- －遺伝資源研究センターの各ユニット長が原稿の内容を確認する。
- －担当ユニット長より投稿原稿に対して修正意見およびコメントが出された場合、著者は速やかにそれらの指摘対応し、修正原稿を編集事務局に送付しなければならない。
- －最終的な掲載の可否は編集委員会により決定する。

校正：

最終原稿について、著者校正を行う。受領後2週間以内に校正の上、校正刷を編集事務局に返送する。

著作権：

農研機構「刊行物著作権取扱規程」により、掲載された著作物の著作権は著者に帰属する。著者は「刊行物著作権取扱規程」中の別紙様式(第3条関係)「著作物利用許諾書」の内容に同意し、署名・捺印してそれを編集事務局に送付しなければならない。この同意により、著者に著作権が帰属する著作物について、著者は農研機構に無償にてその利用を許諾したものとする。

本誌に掲載された全ての原稿は、open access としてジーンバンクのウェブサイト (https://www.gene.affrc.go.jp/index_j.php) および農研機構機関リポジトリ (https://repository.naro.go.jp/?action=repository_opensearch&index_id=118) から公開され、遺伝資源研究センター (genebank@naro.affrc.go.jp) の許可を得て転載することが出来るものとする。

連絡先：

植物遺伝資源探索導入調査報告書(植探報)編集委員会事務局
〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2
農研機構 基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター
E-mail: genebank@naro.affrc.go.jp

附則

この要領は、令和6年4月1日から施行する。

(別紙1)

植物遺伝資源探索導入調査報告書 投稿原稿作成要領

(令和6年4月1日現在)

書式：

1. 原稿の書式は A4 用紙サイズで横書きとする。原稿は、原則 Microsoft Word で作成する。外字の使用は禁止する。和文は MS 明朝フォント、英文と数字は Times New Roman フォントで、文字の大きさを 12 ポイント、1 頁 25 行、1 行 全角 40 字程度とする。用紙の下端部中央に頁数を記入する。
2. 原稿は、タイトル、著者名、所属機関、責任著者のメールアドレス、摘要（以上について、和文原稿では和文と英文）、キーワード、本文、引用文献の順に記載する。英文原稿の場合は、本文の最後に和文摘要を付ける。
3. 著者名の英語表記は、名-姓の順とし、姓はすべて大文字表記とする。
4. 連名著者の所属が異なる場合、著者名の右肩に数字をつけて所属を示す。
5. 農研機構に所属する著者の所属機関の英語表記は以下の URL に従う。
<http://www.naro.affrc.go.jp/english/about-naro/organization.html>
例) Institute of Vegetable and Floriculture Science, NARO
6. キーワードは 5 語以内とする。表題に含まれない単語が望ましい。コンマで区切り頭文字を大文字にしてアルファベット順に配列する。
7. 学名は国際命名規約に依拠してイタリックで示す。英語以外の現地語方名などは小文字イタリックで表記する。物質名を省略して表記する場合には初出箇所での正式名称を示し、括弧内に省略形を示す。
8. 本文の内容は自由とする。ただし、原稿には「探索日程を記した表」、「探索ルートおよび収集地点を示した地図」、「収集品の内訳を記した表」、「JP 番号を含むパスポートデータを記した表」および「写真（収集品の写真を含む）」を含めること。
9. 単位の表記は国際単位 (SI 単位) 系を用いるが、SI と併用されるが SI に属さない単位、分 (min)、時 (h)、日 (d)、度 (°)、分 (′)、秒 (″)、リットル (L)、トン (t) については使用できる。単位は立体文字 (ローマン) で記し、斜体文字 (イタリック) にせず、英語複数形の s やピリオドなどは付けない。数値と単位記号との間は 1/2 ~ 1 字分の空白を置く。
10. 謝辞を考察の後に配置する。助成金などの外部資金については謝辞に記す。また、ジーンバンク事業予算で探索を実施した場合は、謝辞に「ジーンバンク事業として探索を実施した」ことを明記する。
11. 原稿本文内で初出となる生物の学名には、命名者名を明記する (例: *Oryza sativa* L.)。

12. 引用文献は以下のように記載する。引用された文献はすべて文末の引用文献リストに列記する。文献の配列順序は第1著者名のアルファベット順とする。第1著者名が同じ場合は単著を最初におき、そのあとは第2著者名以下のアルファベット順とする。すべての著者名が同じ場合は発表年の順とする。第1著者名が同じで発表年も同じ場合、発表年のあとにアルファベットを付して区別する。和文英文のいずれでもない文献は、言語を明示する。受理されたが出版されていない文献には“in press”と付ける。

有賀 裕剛・田中 大介 (2024) 徳島県および高知県における作物在来品種の調査と生息域外保全 (2024年). 植探報 40: 29-40.

Ariga H, Terashima Y, Yamamoto S and Takahashi Y (2023) Collection and conservation of crop landraces including the Families Brassicaceae, Cucurbitaceae, Fabaceae, and Poaceae in the region around Aso and Kuju Mountains and Itsuki Village of Kumamoto Prefecture. AREIPGR 39: 37- 55.

13. 原稿は本要領に準拠して作成するものとする。作成時に不明点及び疑問点が生じた際は、ジーンバンクのウェブサイト (https://www.gene.affrc.go.jp/index_j.php) または農研機構機関リポジトリ (https://repository.naro.go.jp/?action=repository_opensearch&index_id=118) にて、本報告書の最新巻に掲載された原稿を参照すること。

図表および写真：

1. 各図表および写真は、1 ページに収まる形に作成する。ただし、パスポートデータを記した表は、その限りではない。
2. 図表および写真には表題を付け、必要に応じて説明を付ける。
3. 表は、原則 Microsoft Excel で作成する。セル結合などの使用は避ける。
4. 図は、原則 Microsoft Power Point で作成する。
5. 図表および写真は、本文中の適切な位置に配置される。ただし、写真については、その枚数が多い場合、種子や果実等の収集品の写真の直前にそれらを一括して配置する。また、必要に応じて縮小して掲載することもある。
6. 図および写真については、鮮明に掲載できることを原則とし、必要に応じてオリジナルファイルの提供を求めることがある。

遺伝資源のパスポート登録：

1. ジーンバンク事業にて収集した遺伝資源は事前にパスポート登録し、本報告書に JP 番号を付けて掲載する。

植物遺伝資源探索導入調査報告書
通巻第 41 巻

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
基盤技術研究本部 遺伝資源研究センター
〒 305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

Research Center of Genetic Resources,
Core Technology Research Headquarters,
National Agriculture and Food Research Organization

2-1-2 Kannondai, Tsukuba, Ibaraki 305-8602, Japan

TEL: 029-838-7467

E-mail : sh-genebank@naro.go.jp

令和 8 年 3 月公表

Published online in March, 2026

Online edition: ISSN 2434-7485

Annual Report on Exploration and Introduction of
Plant Genetic Resources

Vol. 41

Fiscal Year 2024

Research Center of Genetic Resources,
Core Technology Research Headquarters,
National Agriculture and Food Research Organization